

# 平成30年度 若年技能者人材育成支援等事業推進計画

長野県職業能力開発協会

## I 事業の目的

若者のものづくり離れ、技能離れが見られる中、若者が進んで技能者を目指す環境整備を図るとともに、ITリテラシーの強化やIT人材の育成に向けて、本事業を活用し、広く若年技能者への実技指導を行い、効果的な技能の承継や後継者の育成を行います。

また、ものづくりの魅力発信やイベント等の開催により、技能尊重気運の醸成や情報技術に関する興味の喚起を図ります。

なお、事業の実施に当たっては、国、県、教育機関、経済団体等と連携・協力し、効果的な事業の推進を図ります。

## II 事業内容

目的を達成するため、当協会内に「地域技能振興コーナー」を設置し、以下の事業を実施します。

### 1 地域における技能振興

#### (1) 技能五輪全国大会の予選の実施、援助

##### ① 予選の実施

長野県職業能力開発協会と共同し、技能五輪全国大会参加が見込める職種について業界団体とも連携を図り、技能検定試験とは別に予選会として競技を行います。

##### ② 大会参加に係る支援・援助

技能五輪全国大会、若年者ものづくり競技大会の参加選手とその指導者の旅費及び工具等の運搬費を援助し、中小企業等の大会参加を促進します。

#### (2) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝える取り組み

##### ① 熟練技能者の派遣による指導

ものづくりマイスターの対象分野に該当しない場合等で、企業等から実技指導の要請を受けた場合は、熟練技能者等の派遣により若年技能者や学生等に対する実技指導を行います。

##### ② ものづくりフェア長野2018（仮称）の開催

関係団体等と連携し、技能士、技能競技大会の成績優秀者等の熟練技能者の製作実演やものづくり体験、技能振興施策の紹介等を内容とした啓発イベントとして、「も

のづくりフェア長野2018（仮称）」を開催します。

③ 情報関連イベント（仮称）の実施

情報関連分野の体験教室等を実施するイベントを実施します。

④ 技能伝承に取り組む企業の好事例発表及び意見交換会

事例発表・意見交換の場を設け、好事例の普及に努めます。

⑤ 「地域発！いいもの」応援事業の実施

申請の受付・提出その他これに関する業務に取り組みます。

⑥ ブロック単位でのイベント

ブロックごとのイベントに際しては、幹事県を始め、各コーナーと協力して取り組みます。

2 ものづくりマイスターITマスター（以下「ものづくりマイスター等」という。）の活用

（1）ものづくりマイスター等事業の情報発信

技能振興コーナーのHP、パンフレット、リーフレット、会報等を活用し、ものづくりマイスター等制度や活用事例の紹介を行い、本事業の一層効果的な活用を推進します。

（2）ものづくりマイスター等の開拓・認定申請

これまでの「ものづくりマイスター等」の登録状況や職種別活用状況等を踏まえ、企業や工業高校等が求めるニーズに対応できるよう、ものづくりマイスター等の掘り起こしを行います。

また、認定申請を行う者に対し、円滑な申請に向けた支援を行うとともに、認定を受けたものづくりマイスター等に対し、必要事項の周知を行います。

（3）ものづくりマイスター等指導技法講習会の開催

新たに認定されたものづくりマイスター等を対象に、指導技法の習得・向上のため、センター作成の教材等を活用した講習会を実施します。

（4）若年技能者の人材育成に係る相談・援助

コーナーに相談窓口を設け、若年技能者の人材育成に係る取組方法、実技指導等の相談・援助及びものづくりマイスター等派遣のコーディネートを行います。

（5）ものづくりマイスター等の派遣による実技指導等の実施

企業や工業高校等からの要請を受けものづくりマイスターを派遣し、技能五輪全国大会の競技課題や技能検定試験の課題等を活用した実践的な実技指導を行い、技能の向上を図ります。

また、情報技術関連分野について、企業等から指導の要請を受けた場合は、ITマスターの派遣により若年技能者や学生等に対する指導を行います。

## (6) 「ものづくりの魅力」発信・目指せマイスタープロジェクト

### ① 教育関係者・児童生徒に対する「ものづくりの魅力」発信

#### ア 小中学校の授業等へのものづくりマイスター派遣

要請に基づき、学校の授業等にもものづくりマイスターを派遣し、講義やものづくり体験教室などを行い、技能・技術への関心を高め、ものづくりを担う人材の育成・確保につなげます。

#### イ 学校の教師、児童生徒の保護者を対象とした「ものづくりの魅力」講座へのものづくりマイスター派遣

上記アを実施する場合は、当該学校の教師を対象とした「ものづくりの魅力講座」を事前に開催します。また、児童生徒の保護者に対しものづくりの魅力を発信します。

### ② 「ITの魅力」発信

要請に基づき、学校の授業等にITマスターを派遣し、講義や情報関連技術の体験教室などを行い、情報関連技術への関心を高め、情報関連技術を使いこなす人材の育成・確保につなげます。

### ③ その他、若者に対する「ものづくりの魅力」発信

サポートステーションからの協力要請があった際は、可能な範囲で協力します。

### ④ ものづくりマイスターの働く職場での職場体験実習の実施

当コーナーの要請に応じ、職場体験実習を行う企業があった場合、地域の学校等に参加を働きかけ、職場体験実習の参加者確保に努めます。

## 3 連携会議の開催

長野労働局、長野県・長野県教育委員会、長野県商工会議所等の経営者団体、高齢・障害・求職者雇用支援機構など28団体で構成する連携会議を開催し、関係機関と連携、協力し効果的な事業推進を図ります。